

ひきこもり相談事業と対策について

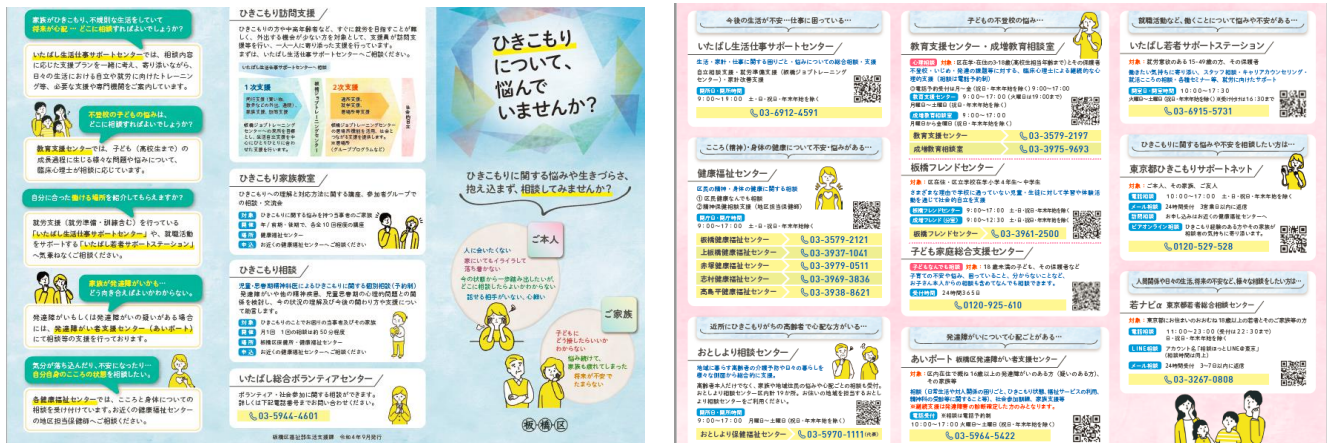
1 相談事業の現況について

ひきこもりに関する相談は、福祉、健康保健、発達障がい、教育分野等の各分野の相談窓口にて受け付けている。

分野	相談窓口	内容
福祉	いたばし生活仕事サポートセンター	生活・家計・仕事に関する困りごと・悩みについての総合相談・支援
健康保健	健康福祉センター	区民の精神身体健康に関する相談
発達障がい	発達障がい者支援センター（あいポート）	相談（日常生活や対人関係の困りごと、ひきこもり状態、福祉サービスの利用、精神科の受診等に関すること）社会参加訓練、家族支援等
教育	教育支援センター	心理相談
子ども	子ども家庭総合支援センター	子どもなんでも相談
高齢者	おとしより相談センター	高齢者の介護予防や日々の暮らしを様々な側面から総合的に支援

相談窓口の明確化

区のひきこもりに関する相談支援機関をまとめた「ひきこもり支援リーフレット」を発行し、ひきこもりに関する様々な悩みに応じた相談窓口を分かりやすく紹介している。



2 他部署や精神保健分野以外との連携について

板橋区ひきこもり家族会との連携

今年9月に板橋区のひきこもり家族会が設立されたことをうけ、当該家族会が実施した設立記念講演・相談会（9月4日実施）では、区共催事業と位置づけ、健康福祉センターの保健

師を相談会の相談員として派遣するなどの連携を図った。

引き続き、当該家族会の活動の後方支援を行うとともに、ひきこもり支援に関する情報交換や事業協力等で連携を図っていく。

3 区全体のひきこもり対策と支援について

(1) 生活状況に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）

目的 板橋区のひきこもり状態にある方の推計値、生活状況やひきこもりの状態等を把握することで、ひきこもりに関する生きづらさを抱える様々な方に対する支援について、検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

①無作為抽出調査（標本調査）

対象者 板橋区在住の満 15 歳（中学生を除く）～満 64 歳の方で、住民基本台帳より無作為抽出した 5,000 名

調査方法 調査票を郵送配付

回答方法 「調査票による回答（返信用封筒）」または「Webによる回答」のいずれか

設問数 全 49 問

内容 本人属性、学歴・就業関係、外出の頻度、ひきこもりのきっかけ・期間、相談機関、ひきこもりに対する社会的支援、同居家族におけるひきこもり者の有無等

調査（回答）期間 令和 4 年 9 月 13 日から 9 月 30 日まで

②当事者及び家族向け調査

対象者 ひきこもりに関する相談をしているご本人またはご家族（ひきこもりの状態となった経験がある方を含む） 100 名

調査方法 調査票を相談支援機関・当事者会等通じて、随時配付

回答方法 「調査票による回答（返信用封筒）」または「Webによる回答」のいずれか

設問数 全 22 問

内容 回答者（本人か家族か）、不安・困っていること、ひきこもり本人の属性、ひきこもりのきっかけ・期間、相談機関、必要な支援等

調査（回答）期間 令和 4 年 9 月 7 日から 10 月 7 日まで

※ 調査委託：株式会社 CCN グループ

※ 調査結果は、令和 5 年 1 月以降に公表予定

(2) 今後のひきこもり支援施策について

次年度以降に向け、現在集計中である「生活状況に関する調査」の結果も踏まえつつ、ひきこもりに特化した相談・支援窓口の設置、ひきこもり当事者の居場所づくり等を含めた当区に必要なひきこもりの支援事業と支援体制の検討・導入を行っている。